

おおさか環境ネットワーク会議レポート

第8回

日時 令和3年2月15日（月）18：30～20：30

会場 Zoomを使用してのオンライン会議

参加者 11団体12名

【会議要旨】

今年度の振り返りと、次年度の方向性について話し合った。

■今年度の振り返り

- ・昨年度末の予定では、以下のような内容を実施しようと検討していた。
 - ・放課後等デイサービス、学童などと繋がりをつくり各団体のプログラムを実施する。
 - ・夏休みの宿題をターゲットにしたイベントを開催する。
→しかし、新型コロナの影響により対面でのイベントができず、今年度については、①動画作成、②オンライン勉強会、③WEBプログラム集の3つのグループに分かれて活動を進めた。

■次年度の方向性についてグループに別れず全体で議論した結果、主に下記の意見などが出た。

- ・オンラインコンテンツを外部に出していいのではないかな。
- ・対面ができるように準備しておいて、どうしても無理なら諦めますという流れに持っていけばいい。
- ・対面講座の開催は部分的に使うのがよい。オンラインばかりだと感が鈍ってくる。コロナが終わると一気に対面の需要が膨らみ、事前準備していた人間が有利になる。全面オンラインは反対である。
- ・ネットワーク参加団体が地域の放課後デイの運営に関わるとのことで、オンラインで繋いでプログラムを実施することを検討すべき。
- ・なにわエコ会議が実施している夏休みのイベントもあるので、協力して実施できないかなどを検討すべき。
- ・ネットワーク内で秋くらいに次年度の方針を決めてしまっても環境局に仕様書の中に書いてもらわないと、2年に1回担当員が変わると毎回検討しなければならないといったことが起きてしまう。
- ・夏にダメなら秋にスライドさせてもいいのでは。場所も今からキープしておくべき。
- ・イベント系はどれだけ集客できるかが重要であり、夏休みの自由研究をターゲットに開催すべきである。上期に向けてどのように進めていくか考えるべきだ。
- ・夏休みの自由研究について進める場合は、次年度の事務局運営の者が決定するのを待っては遅い。今からネットワーク参加団体のメンバーで決めないと、夏休みには間に合わない。

■次年度の方針について

→WEBプログラム集、オンライン勉強会、動画作成については、引き続き3つのグループと、加えて対面イベントの検討グループで進めようという事になった。

- ・オンライン勉強会
これまで同様のクローズな場と放課後デイとの連携などを想定。
- ・Webプログラム集
作りっぱなしもよくないので、話し合いをして活用促進をしていく。
- ・動画作成
外向けの勉強会をクローズとオープン両方で開催していくことを検討していく。
- ・対面イベントの検討グループ
夏休みの宿題と冬の、2回を想定。

【次回の開催について】

次年度の計画（夏休みの自由研究サポート）について、有志で3月に会議を行うこととなった。

令和二年度 第8回 おおさか環境ネットワーク会議

- 日時：令和3年2月15日（月） 18：30～20：30
- 会場：オンライン（Zoom）

本日のプログラム

1	15分	近況報告
2	30分	オンライン勉強会の振り返り
3	65分	次年度の方針について ・オンライン勉強会 ・WEBプログラム集 ・動画作成
4	10分	PRタイム それぞれの団体の活動予定を共有しよう



会議開催の様子

◆次回以降の開催日程

令和2年度

※夏休み宿題イベントに向けた有志の集まり

日時：3月23日(火) 18:30～20:30

場所：環境事業協会本社会議室及びオンライン
ZOOMの併用によるハイブリッド開催